



# EXPO 2025

by

## Landscape Architecture

大阪府都市整備部若手研究会  
NPO法人国際造園研究センター  
(一社)公園管理運営士会西日本支部  
阪神造園建設共同組合  
(一社)ランドスケープコンサルタント協会関西支部

# Smart Island City on the Osaka bay

・・・ 自然と社会の持続性を “ Landscape infrastructure “により探求・創造する実験都市。

## ■テーマ・サブテーマ

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン  
“Designing Future Society for Our Lives”

サブテーマ

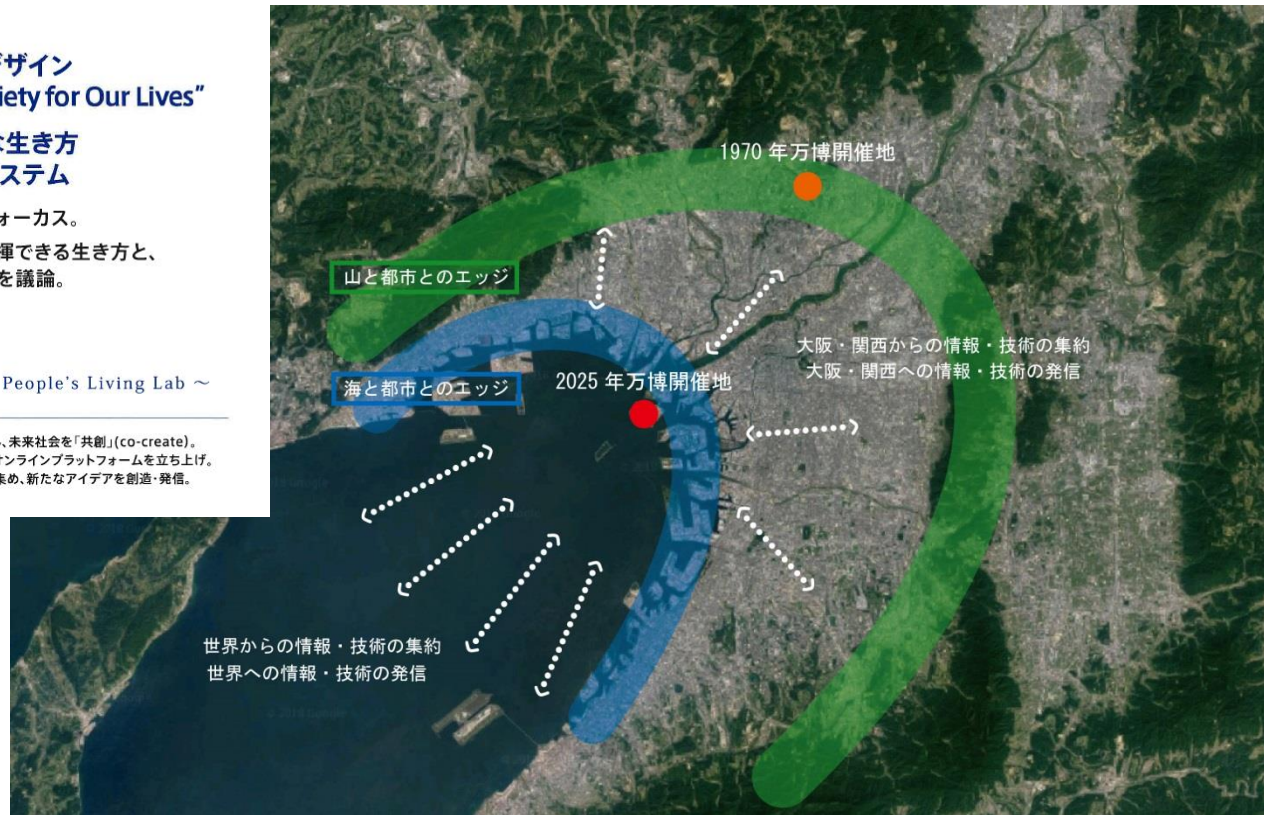
多様で心身ともに健康な生き方  
持続可能な社会・経済システム

- 「人」(human lives)にフォーカス。
- 個々人がポテンシャルを発揮できる生き方と、それを支える社会の在り方を議論。

## ■コンセプト

未来社会の実験場 ~ People's Living Lab ~

- 展示をみるだけでなく、世界80個人がアイデアを交換し、未来社会を「共創」(co-create)。
- 開催前から、世界中の課題やソリューションを共有できるオンラインプラットフォームを立ち上げ。
- 人類共通の課題解決に向け、先端技術など世界の英知を集め、新たなアイデアを創造・発信。



■ 自然環境システムの中にある人工島、、、

⇒ 地球に開かれた連続性のもとにとらえることにより持続性高まる！！

「大地」「水系」「大気」「光（闇）」「生物」

■ 未来都市大阪へと導く実験都市、、、、

⇒ 地球に抱かれ、本来の人間性に立ち返ることで国際社会の賛同と活力を得る！！

「安全・安心」「風・陽光」「楽しみ」「健康・長寿」「多様性」

## 2025年大阪・関西万博がめざすもの

▶ 国連が掲げる持続可能な開発目標 (SDGs※1) が達成される社会 ▶ 日本の国家戦略Society5.0※2の実現

※1 SDGs：持続可能な開発目標。2015年9月、国連本部で開催された「国連持続可能な開発サミット」において、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、17の目標が掲げられた。  
※2 Society5.0：持続社会、福祉社会、工業社会、情報社会に続く、5番目の新しい社会(超スマート社会)。ICTを最大限に活用し、サイバー空間とフィジカル空間(現実世界)とを融合させた取組により、人々に豊かさをもたらす社会。



会場となる夢洲に挑戦的・実験的「地球環境インフラ(基盤)」を築き、

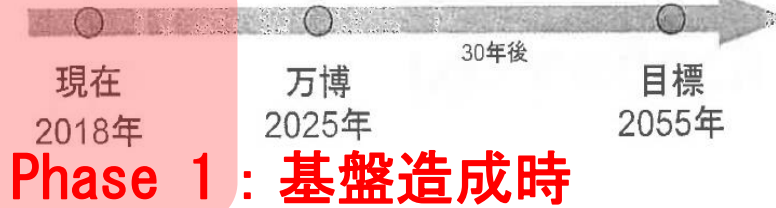
“自然的持続性”と“社会的活力”の創出を目指します！

- 水、エネルギー、熱・・・の循環を生むインフラ形成に挑戦
- 既存エネルギーのみに頼らないパッシブ基盤により快適環境創出
- 博覧会後は、本インフラを基に未来都市大阪の“バイオフィリックな都市ブランド”の構築・完成に向け関連事業者の参入を図る

# 未来を見据えたコンセプト

“ Landscape infrastructure ”

## 太陽の塔：EXP070への想い



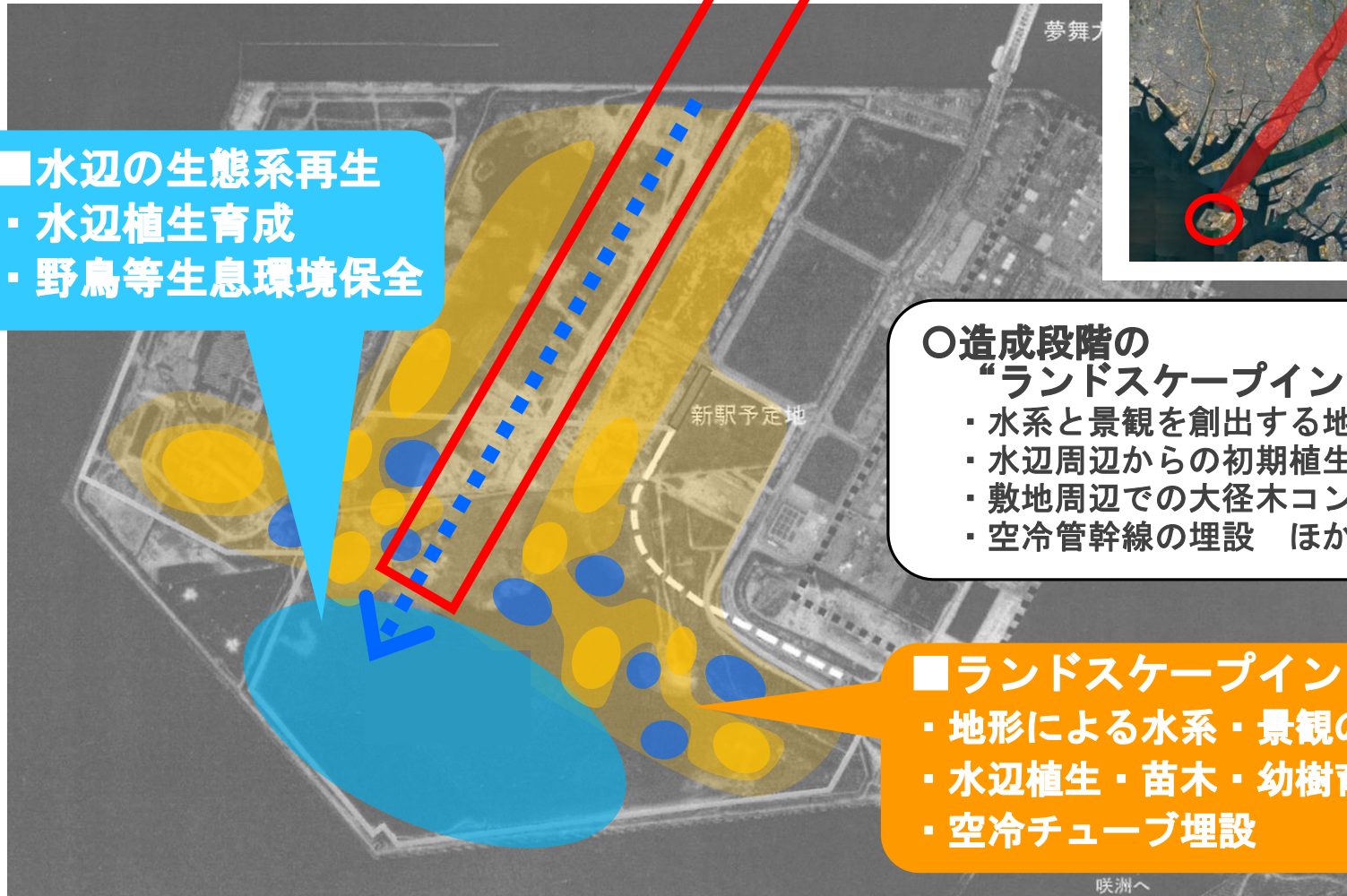
- 水辺の生態系再生
  - ・ 水辺植生育成
  - ・ 野鳥等生息環境保全

### ○ 造成段階の “ランドスケープインフラ”の形成

- ・ 水系と景観を創出する地形造成
- ・ 水辺周辺からの初期植生育成
- ・ 敷地周辺での大径木コンテナ育成
- ・ 空冷管幹線の埋設 ほか

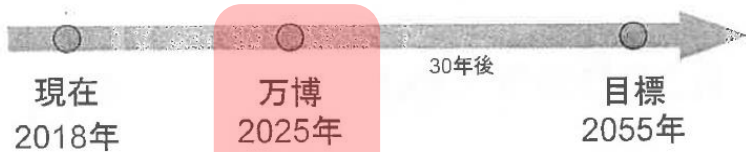
### ■ ランドスケープインフラの形成

- ・ 地形による水系・景観の基盤づくり
- ・ 水辺植生・苗木・幼樹育成
- ・ 空冷チューブ埋設



# 未来を見据えたコンセプト

# “ Landscape infrastructure ”



## Phase 2 : 会場整備段階

### ○会場整備段階の “ランドスケープインフラ”の形成

- ・ イースト・ウエストヒル整備
- ・ グリーン・エコラグーンコリドー整備
- ・ エキスポビスタ整備
- ・ 駅、陸、海のエントランス整備
- ・ 観客等送迎動線の整備



# 未来を見据えたコンセプト

“ Landscape infrastructure ”



**Phase 3**  
**: 将来整備時**

**太陽の塔 : EXP070への思い**

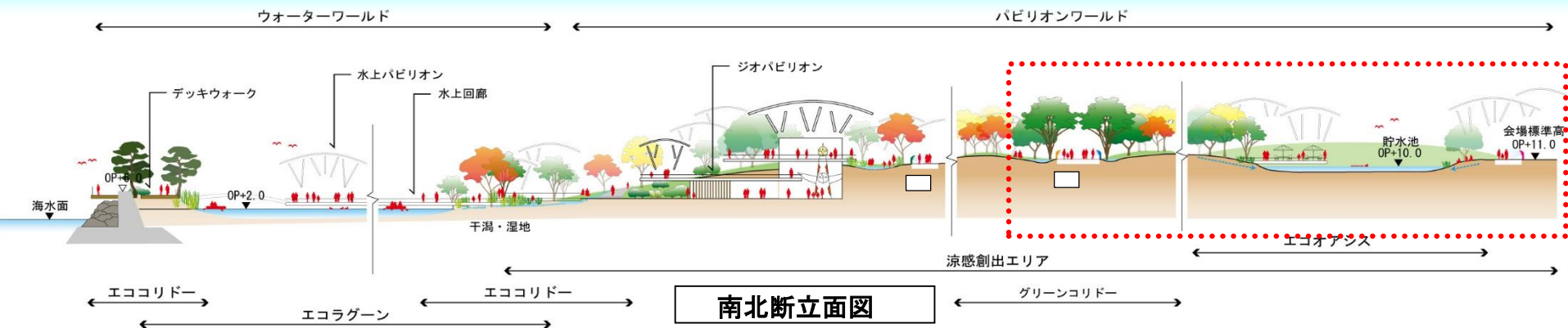


## ○ランドスケープインフラを活かした “Biophilic City: 2025万博Island”の形成

- ・ 2025万博Cityから太陽の塔へと向う  
「万博のLegacy : エクスポビスタ」の整備
- ・ 2025万博のテーマ「地球と命」のもと  
エコ・ライフビジネスが集積した先端都市整備
- ・ IRと相乗効果の高い一体的Islandの整備

## 〔パビリオンワールド:エコオアシスの形成〕

- ・会場内の雨水を集め、雨水の循環活用を図るための水源とする。
- ・周辺は、水辺の植生に配慮し、野鳥等生物との触れ合うことのできる生態系豊かな環境とする。
- ・池沿いにパビリオンやテラスを張り出し観客の憩いの場を整備し、親水性の高いオアシス空間とする。
- ・雨水を貯め、流すために穏かな起伏を設けるとともに、日頃の展望が楽しめる非常時に逃げ込める小丘を設ける。



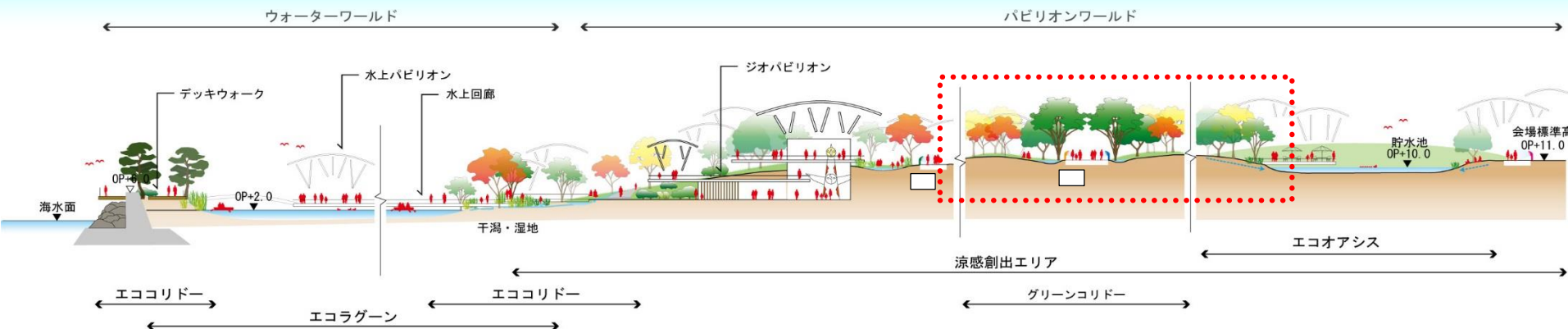
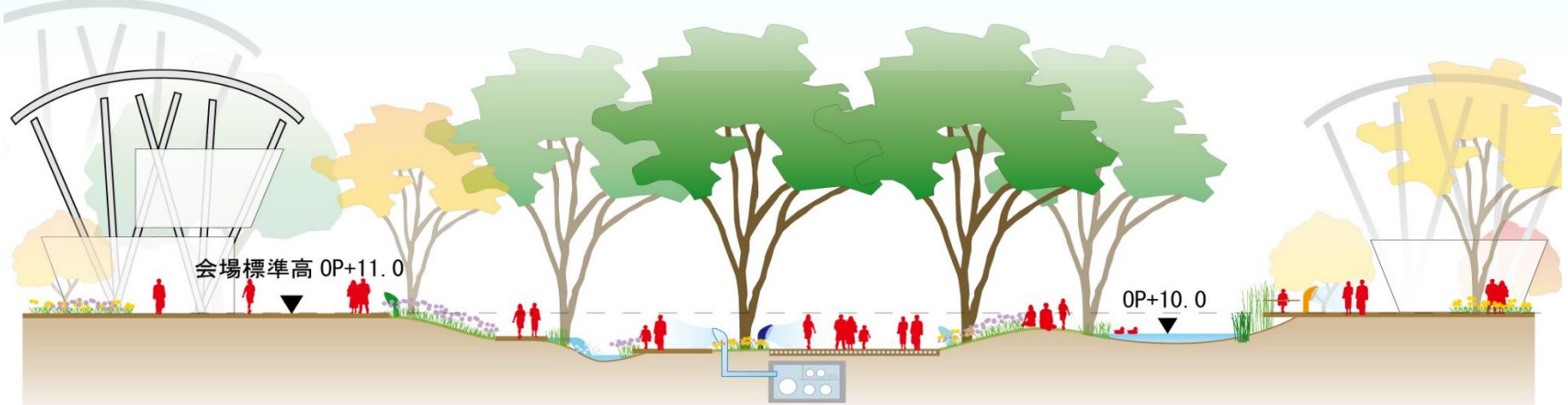
南北断立面図

# 会場イメージ（全体）

“ Landscape infrastructure ”

## 【パビリオンワールド:グリーンコリドーの形成】

- ・ 緑陰豊かな広幅員の主動線とし、せせらぎが流れる遊歩道を併設することで、楽しく心地良い空間形成を図る。
- ・ 通路下には、共同溝を兼ねたトレンチを設け、夏期に涼風を提供する。
- ・ 舗装は、保水性能を有する構造・材料を活用し、夏期の微気象緩和を図る。
- ・ 雨水を利用したせせらぎを設けるとともに、小規模発電に活用する。

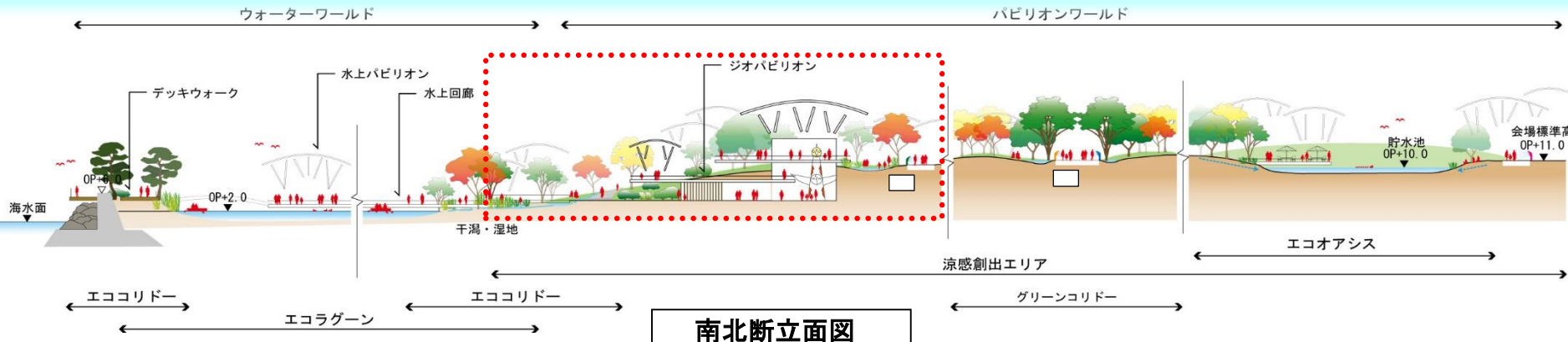
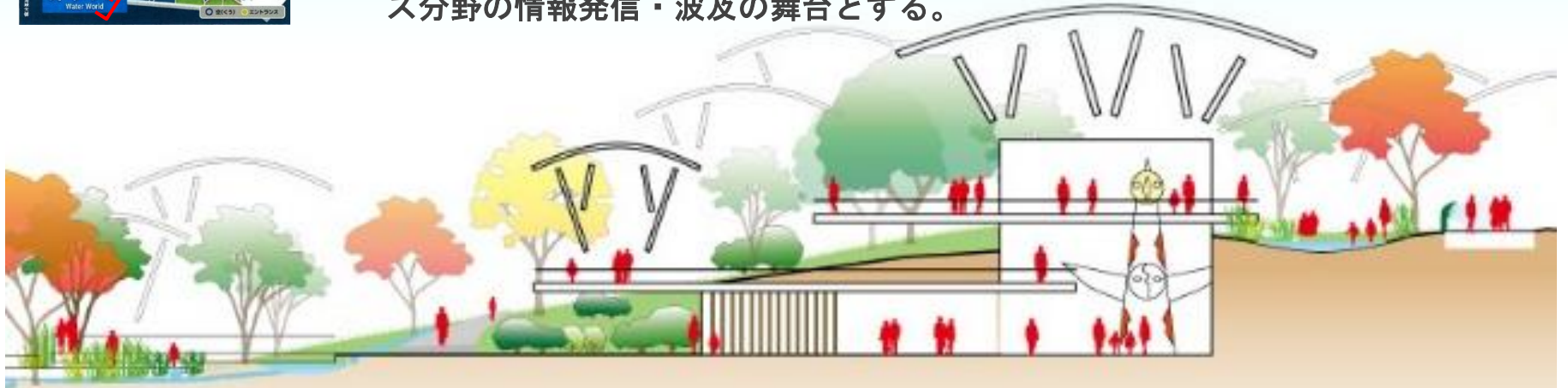






## 〔パビリオンワールド: ジオパビリオンの形成〕

- ・ ウォーターワールド付近の地形の高低差を活用し、地下の安定した熱環境の活用をはじめ、大阪湾やラグーンへの展望や、周辺の水辺や緑と一体の快適な空間性を特徴とした環境調和型のパビリオンを整備し、先進的エコビジネス分野の情報発信・波及の舞台とする。



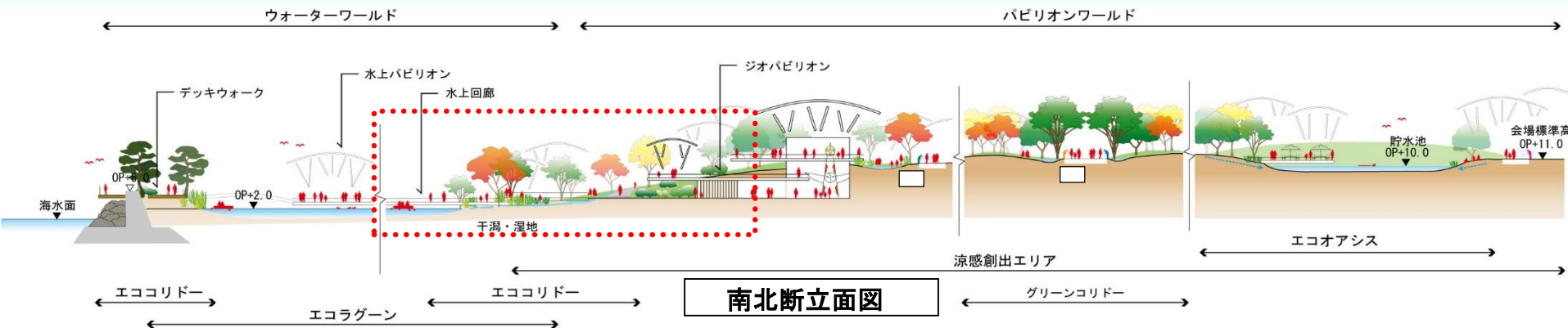
# 会場イメージ（全体）

“ Landscape infrastructure ”



## 【ウォーターワールド:エコリドーの形成】

- ・ラグーン沿いの穏かで開放的なエリアを、多様な植生をはじめ、水辺からの距離や高さに応じて変化する、多彩な景観を楽しみリフレッシュできる回遊空間とする。

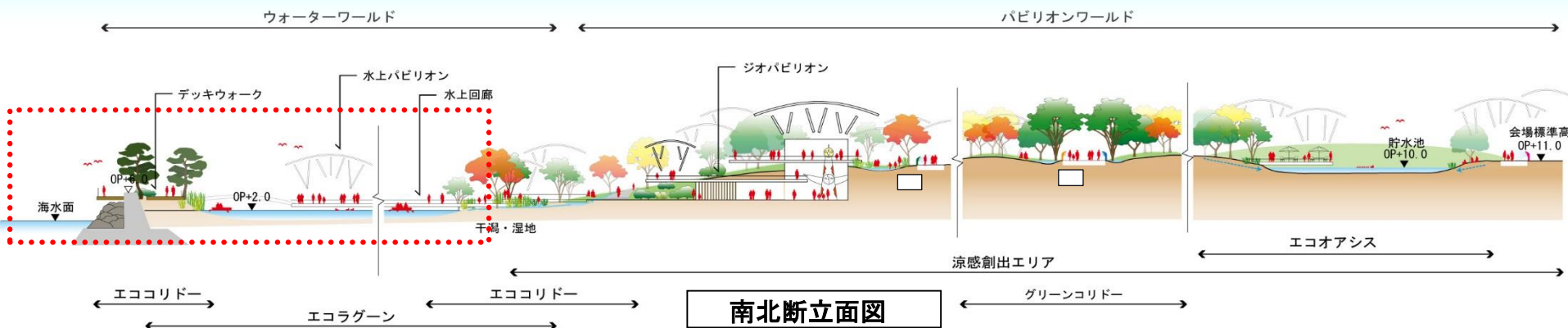
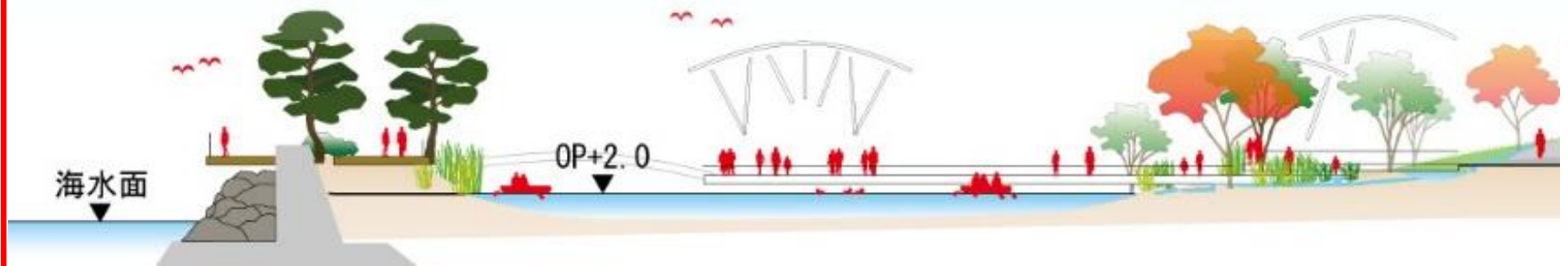


# 会場イメージ（全体）

“ Landscape infrastructure ”

## 【ウォーターワールド:エココリドー・エコラグーンの形成】

- ・ 雨水による淡水池（ラグーン）を活用し、ヨシ原や干潟等の生態的環境形成を図り、地域性をふまえた持続性の高い水辺とする。
- ・ 海際の堤防沿いについては、ラグーン側に基盤造成を行ない、黒松を中心とした防風植栽を施すとともに、デッキウォークを設け、水辺の回遊性を確保する。
- ・ ラグーンでは、カヤックを用いた自然体験等、バイオフィリック活動が展開・波及させるべく、最新のサービス提供や情報発信を行う。



# 会場イメージ（全体）

“ Landscape infrastructure ”

## 【グリーン・ウォーターワールド:イーストヒル・エココリドー等の形成】

- ・ 関空等大阪湾方面や、ラグーンへの展望が楽しめる緑の丘を形成する。
- ・ 景観を楽しみながら、ディキャンプやグランピング等のバイオフィリック体験を楽しみ波及させるべく、最新のサービス提供や情報発信を行う。



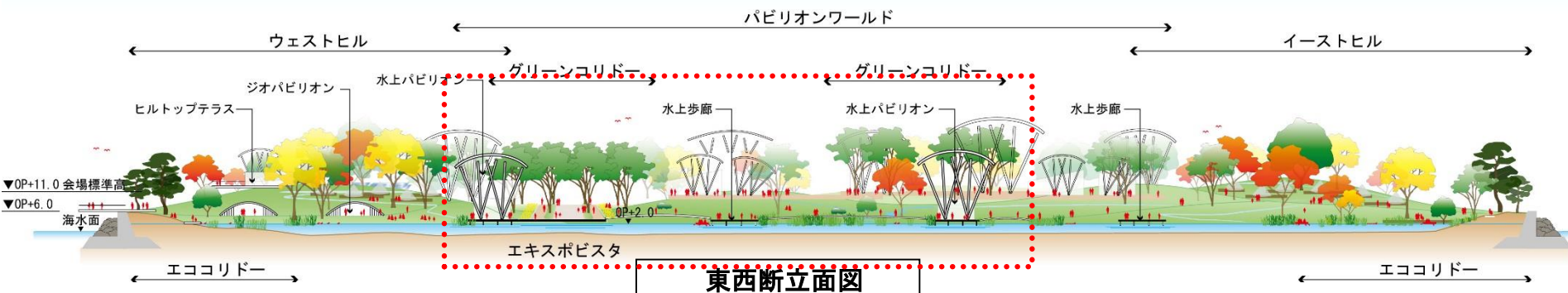
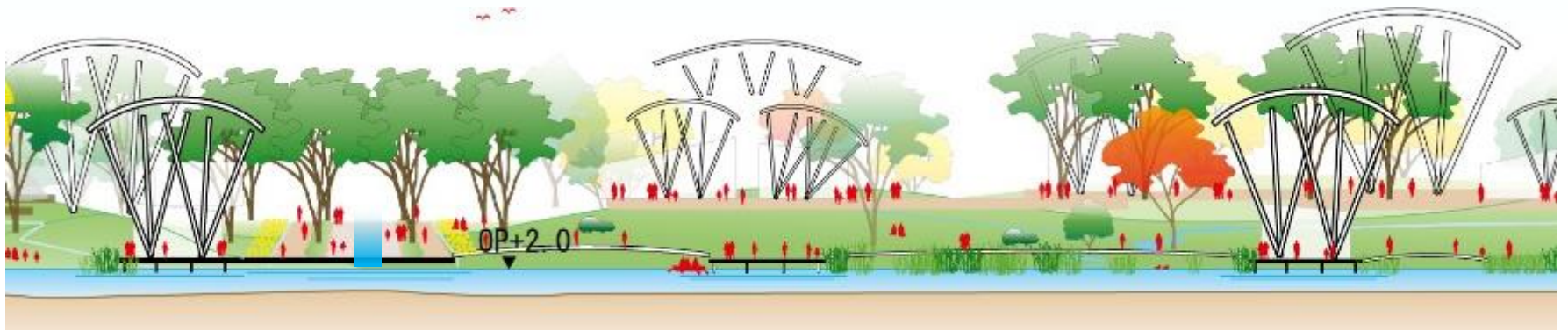
# 会場イメージ（全体）

“ Landscape infrastructure ”



## 【グリーン・ウォーターワールド:エキスポビスタ・エココリドーの形成】

- ・ 穏かな谷状地形とこれに沿ったせせらぎや緑地により、パビリオンワールドからエコラグーンへと延びるエキスポビスタを形成する。
- ・ ラグーン沿いの穏かで開放的なエリアを、多様な植生をはじめ、水辺からの距離や高さに応じて変化する、多彩な景観を楽しみリフレッシュできる回遊空間とする。

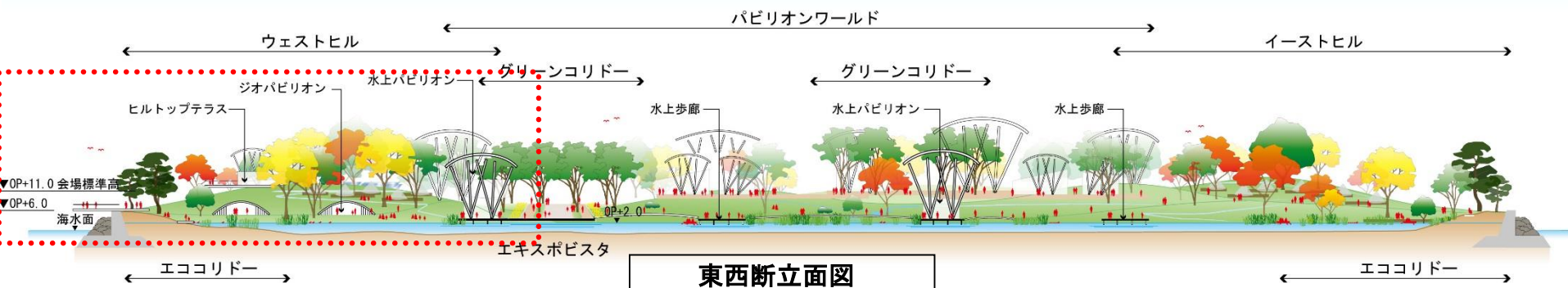


# 会場イメージ（全体）

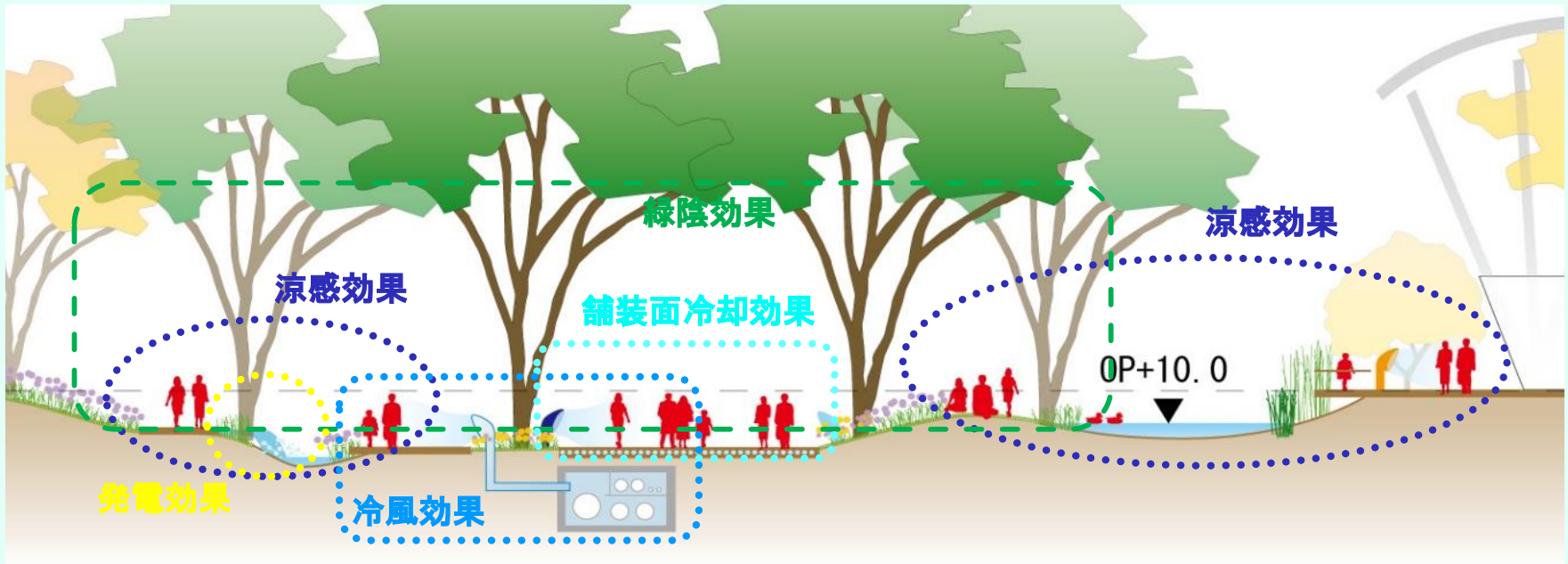
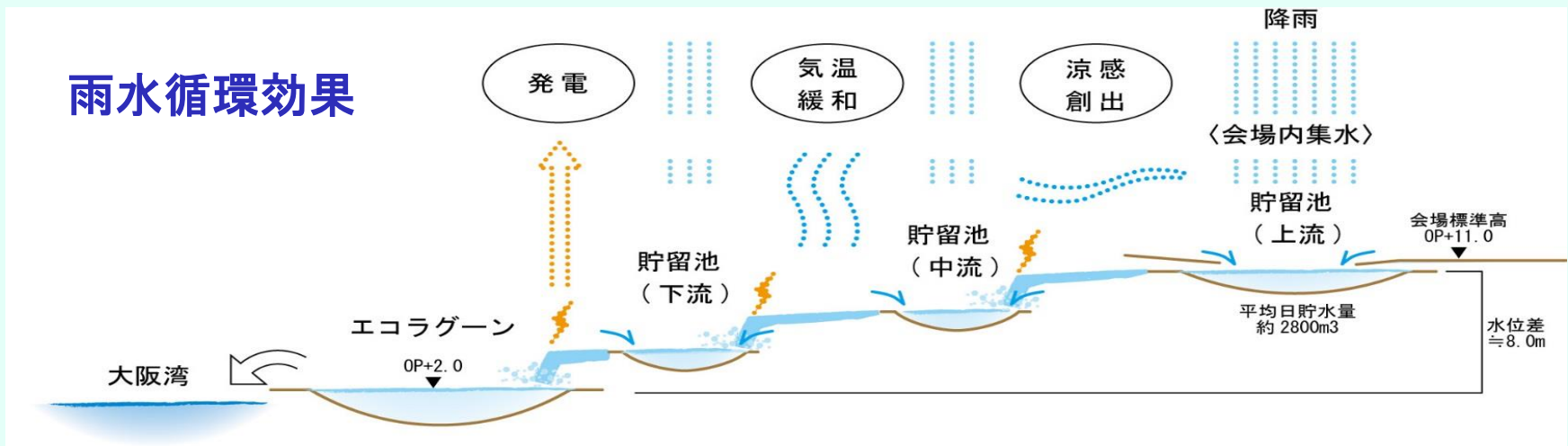
“ Landscape infrastructure ”

## 〔グリーン・ウォーターワールド:ウエストヒル・エココリドーの形成〕

- ・ 六甲山系方面への開放的景観や、ラグーンへの展望が楽しめる緑の丘を形成する。
- ・ 丘からラグーンへの高低差を活用し、環境関連のベンチャー企業を中心に出展を誘致するジオパビリオンを設ける。
- ・ 景観を楽しみながら、ディキャンプやグランピング等のバイオフィリック体験を楽しみ波及させるべく、最新のサービス提供や情報発信を行う。



## 雨水循環効果



雨水循環効果



- ・ 保水性舗装面冷却（気化熱）路面からの気化熱により3.0℃冷却
- ・ 水辺の涼感創出  
5～10系統のせせらぎを創出
- ・ 雨水の流れによる小規模発電 1日当り約30kw/h（LED街灯200基相当）

地中熱交換効果



歩行者空間への20℃の涼風提供

地下1m内径2×1.5mのBOXカルバートに、10m間隔で径30cmの噴出し口を設け、1.0m/sの風量とする場合、  
⇒22～23℃の涼風を噴出すことが可能です。

A:内側表面積 (m<sup>2</sup>) V: 単位風量 (m<sup>3</sup>/S)

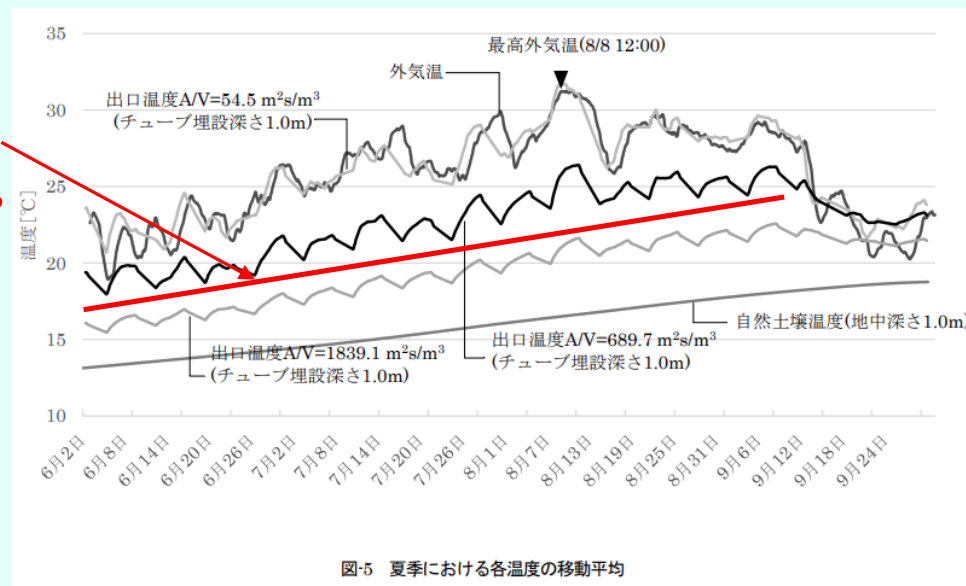


図-5 夏季における各温度の移動平均



# グリーンコリドー

# Landscape infrastructure “



# エコラグーン・エココリドー

# “ Landscape infrastructure ”

